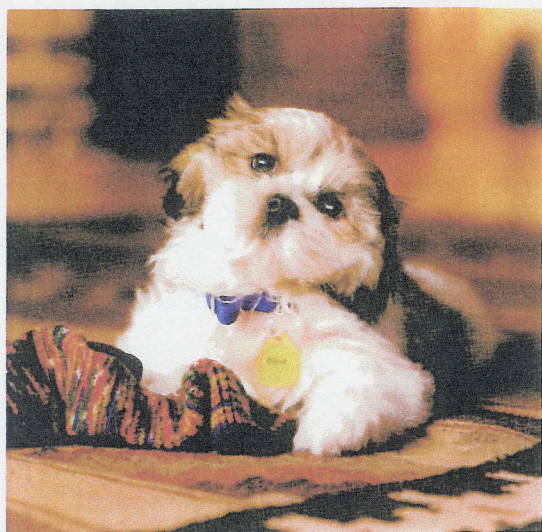




SCIENCE DIET[®] PRO

サイエンス・ダイエット〈コロ〉




SCIENCE DIET[®]
PRO

*05米国TNS NFO調べ

米国の獣医師がNo.1*に推奨、ヒルズのサイエンス・ダイエット



さまざまな病気に対応する特別療法食 ヒルズのプリスクリプション・ダイエット

プリスクリプション・ダイエットは病気の犬猫の食事管理に最適です。対応する病気は製品ごとに異なります。

製品	適応	特徴
〈犬用〉 b/d	脳に加齢性変化に伴う行動異常	抗酸化成分強化 オメガ-3脂肪酸増量 カロテノイド・フラボノイド増量
〈犬用〉 c/d	ストルバイト尿石	リン・マグネシウムの制限 抗酸化成分配合
〈犬用〉 d/d	痒痒性皮膚炎 食物有害反応 慢性外耳炎、消化器症状	オメガ-3脂肪酸増量 蛋白質源の限定 抗酸化成分配合
〈犬用〉 g/d	初期の心臓病 初期の腎臓病 高齢期	リン・ナトリウムの制限 オメガ-3脂肪酸増量
〈犬用〉 h/d	心疾患 腹水/浮腫	塩分の制限 タウリン・L-カルニチン強化 蛋白質・ビタミンB群増量、抗酸化成分配合
〈犬用〉 i/d	消化器疾患(下痢、消化器炎、大腸炎) 膵炎、膵外分泌不全 幼犬にも適応	高消化性 ビタミンB群・カリウム増量 混合繊維強化
〈犬用〉 j/d	関節炎	EPA・L-カルニチン増量 グルコサミン・コンドロイチン硫酸強化 抗酸化成分配合
〈犬用〉 k/d	腎疾患 心疾患	蛋白質・リン・ナトリウムの制限 オメガ-3脂肪酸増量、ビタミンB群強化 可溶性繊維、抗酸化成分配合
〈犬用〉 l/d	肝疾患 肝性脳症 幼犬にも適応	高品質の蛋白質、脂肪、炭水化物 L-カルニチン配合 ビタミンK、亜鉛強化
〈犬用〉 n/d	がん	高蛋白質、高脂肪、低炭水化物 オメガ-3脂肪酸・アルギニン増量
〈犬用〉 p/d	回復期(衰弱、食欲不振) 成長期 妊娠・授乳期	高蛋白質、高脂肪 DHA配合 抗酸化成分配合
〈犬用〉 r/d	肥満 糖尿病 高脂血症	低エネルギー、低脂肪、高繊維 L-カルニチン増量、高リジン 抗酸化成分配合
〈犬用〉 s/d	ストルバイト尿石の溶解	蛋白質・リン・マグネシウムの制限
〈犬用〉 t/d	歯垢、歯石 口臭 歯肉炎	特殊な層状構造の食物繊維(特許取得済) 抗酸化成分配合
〈犬用〉 u/d	ストルバイト以外の尿石症 重度の腎臓病	蛋白質・リン・ナトリウム・カルシウムの制限 オメガ-3脂肪酸増量 可溶性繊維強化、抗酸化成分配合
〈犬用〉 w/d	肥満傾向、糖尿病 大腸炎、便秘、ストルバイト尿石症 高脂血症(ドライ)	低エネルギー、高繊維 L-カルニチン増量 抗酸化成分配合
〈犬用〉 z/d	食物有害反応 痒痒性皮膚炎 慢性外耳炎、消化器症状	加水分解蛋白質を使用 高消化性炭水化物 オメガ-3脂肪酸増量、抗酸化成分配合
〈犬用〉 Treats	特別療法食による食事管理を受けている犬	低エネルギー 低ミネラル
〈犬用〉 低アレルゲン トリーツ	〈犬用〉z/d、〈犬用〉d/d、〈犬用〉i/dを 給与している犬	加水分解蛋白質を使用



さまざまな病気に対応する特別療法食 ヒルズのプリスクリプション・ダイエット

プリスクリプション・ダイエットは病気の犬猫の食事管理に最適です。対応する病気は製品ごとに異なります。

製品 タイプ	適応	特徴
〈犬猫用〉 a/d	 回復期(衰弱、食欲不振) 術前・術後	高エネルギー 高蛋白質 オメガ-3脂肪酸増量
〈猫用〉 c/d	 特発性膀胱炎 尿石症(ストルバイト/シュウ酸カルシウム) FLUTDの確定診断までの管理	マグネシウム・リン・カルシウムの調整 抗酸化成分配合、オメガ-3脂肪酸増量 ナトリウムの制限、ビタミンB ₆ の増量
〈猫用〉 d/d	 痒痒性皮膚炎 食物有害反応 消化器症状	オメガ-3脂肪酸増量 蛋白質源の限定 抗酸化成分配合
〈猫用〉 g/d	 初期の心疾患 初期の腎疾患 高齢期	リン・ナトリウムの制限
〈猫用〉 i/d	 胃腸疾患(下痢、胃腸炎、大腸炎) 肺炎 幼猫にも適応	高消化性 ビタミンB群・カリウム増量 混合繊維強化
〈猫用〉 k/d	 腎疾患 心疾患	蛋白質・リン・ナトリウムの制限 可溶性繊維 抗酸化成分配合
〈猫用〉 l/d	 肝疾患 肝性脳症	高品質の蛋白質、脂肪、炭水化物 L-カルニチン配合 ビタミンK、亜鉛強化
〈猫用〉 m/d	 肥満 糖尿病	低炭水化物、高蛋白質 L-カルニチン増量 抗酸化成分配合
〈猫用〉 r/d	 肥満 肥満のストルバイト尿石症 高脂血症	低エネルギー 高繊維 L-カルニチン増量
〈猫用〉 s/d	 ストルバイト尿石の溶解	マグネシウムの制限 抗酸化成分配合
〈猫用〉 t/d	 歯垢 歯石 歯肉炎	特殊な層状構造の食物繊維(特許取得済) 抗酸化成分配合
〈猫用〉 w/d	 肥満傾向、糖尿病 大腸炎、便秘、ストルバイト尿石症 高脂血症(ドライ)	低エネルギー、高繊維 L-カルニチン増量 抗酸化成分配合
〈猫用〉 z/d	 食物有害反応 痒痒性皮膚炎 慢性外耳炎、消化器症状	加水分解蛋白質を使用 高消化性炭水化物 オメガ-3脂肪酸増量、抗酸化成分配合